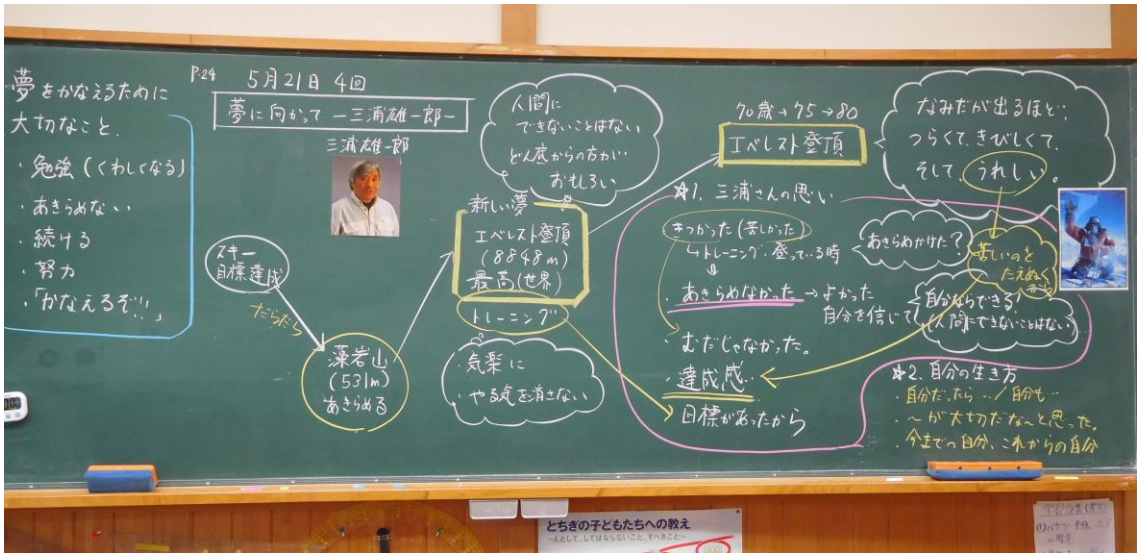
道徳だより 6

「温かいおまんじゅう」（６－１）

「礼儀の意味が分かり、礼儀正しく真心をもって人に接しようとする心情を育てる」をねらいとして、話し合いをしました。礼儀とは、あいさつやお礼の言葉をただ言うだけではなく、相手へ感謝の気持ちを込めて、相手に伝わるようにすることが大切だと考えました。また、礼儀正しくすると、自分も相手も気持ちよくなることができると気付くことができました。

「夢に向かって―三浦雄一郎―」（６－２）

「夢に向かい、夢を実現する生き方のすばらしさを感じる心情を育てる」をねらいとして、話し合いをしました。「辛くて厳しいことを乗り越えてこそ、夢をかなえた時の喜びや達成感を感じることができる」「自分もこれからは目標を達成するために全力でがんばっていきたい」などの考えがたくさん出てきました。